日本共産党南関東ブロック 事務所だより NO.51

志位和夫

はたの君枝

さいとう和子

しいば かずゆき

発行 日本共産党国会議員団
2018年8月 南関東ブロック事務所
横浜市神奈川区西神奈川1-10-16
斎藤ビル2F TEL 045-324-6516

国会活動報告

野党6党・会派共同で内閣不信任案を提出

内閣不信任決議案に賛成討論する、志位和夫委員長=7月20日、衆議院

7月20日、日本共産党、立憲民主党、国民民主党、無所属の会、自由党、社民党の野党６党・会派は、安倍内閣不信任決議案を衆院に共同提出しました。

志位和夫委員長は衆院本会議で賛成討論に立ち、①西日本豪雨災害での人命より賭博優先の暴挙、②改ざん、隠ぺい、虚偽答弁などの異常事態、③戦後労働法制の土台を壊す「残業代ゼロ制度」の強行、④朝鮮半島の平和の流れに逆らう「戦争する国づくり」への暴走ーーを鋭く告発。

「国政私物化疑惑にフタをし、『数の暴力』で国民が強く反対する法案を次々に押し通す。もはや国政を担う資格はない」と速やかな退陣を迫りました。

決議案は自民、公明、維新の反対で否決されました。

エアコン未設置問題で小学校視察～こどもの命を守る対応を要請

授業の実態を調査。左から江田、盛田、さいとう、はたの、中村、しいば、浅野、野本の各氏=7月9日、千葉市

はたの君枝衆院議員と千葉市議団、しいばかずゆき参院比例予定候補、浅野ふみ子参院選挙区予定候補、さいとう和子前衆院議員、江田ちよ県議予定候補らは7月9日、エアコンの未設置問題で、千葉市中央区の都小学校を視察しました。当日の教室内の気温は30.1度～30.5度。窓を開け、扇風機を回して授業が行われていましたが、汗だくで授業を受けている子もいました。

野本市議団長は「首都圏の政令市で小中学校へのエアコン未設置は千葉市だけ。普通教室のエアコンの設置に66億円必要。JR千葉駅前開発や307億円の新庁舎建設より、児童生徒の健康を優先すべき」と指摘しています。はたの氏は「政府に深刻な実態を知らせ、補助金の増額を求めたいたい」と話しました。

右から、しいば、はたの、浅野、中村、かばさわ、江田、の各氏=7月30日、国会

また7月30日、教室のエアコン未設置問題で、はたの氏は千葉市議団とともに、総務、文部科学両省から状況や対策について説明を聞き、児童・生徒の命を守る緊急の対応を求めました。しいば氏、浅野氏らが同席しました。小中学校でのエアコン設置をめぐっては、政府が補助の検討を示し、また熊谷千葉市長が設置の検討を表明しましたが、時期は明言していません。参加者は「37℃にもなる教室もあり、命に係わる問題だ」と指摘。文科省担当者も「自治体からの空調事業の追加申請の要望があるかどうか調査している」と答えました。

転落事故のサイクリングロード、管理はどこ？

左から さいとう氏、浅野氏、寺尾県議、中村市議=7月18日国会

千葉市花見川区国道脇のサイクリングロードで、側溝（U字溝）に児童が転落する事故がありました。千葉市は「管理していない」、県は「側溝はコースに含まれていない」、千葉国道事務所も「わからない」。7月18日、U字溝の管理者を明確にするため、国交省に説明を求めました。さいとう、浅野の各氏、寺尾さとし県議、中村きみえ市議が参加しました。

その後、市がU字溝に蓋をする方向です。

北富士演習場での日英共同訓練撤回を

左から、はたの議員、しいば氏、2人おいて宮内氏、一人おいて、さいとう氏=7月30日国会

山梨県の北富士演習場全面返還・平和利用山梨県民共闘会議（北富士共闘会議）は7月30日、防衛省と外務省に対し、北富士演習場で計画されている英陸軍と陸自の共同訓練計画の撤回を申し入れました。要請には共闘会議の代表らが参加。はたの議員、しいばかずゆき氏、宮内げん参院山梨選挙区予定候補、さいとう和子氏も同席しました。

要請では、国と地元自治体との協定が自衛隊と米軍以外の訓練を認めていないことを強調。「協定を無視して他の外国軍隊との訓練を計画することなど言語道断だ」批判しました。

小型漁船への割り当ては不当～クロマグロの漁獲規制で漁協と懇談

漁業者との懇談、右から、さいとう氏、しいば氏、浅野氏、川副氏、藤本治市議=7月21日、勝浦市

クロマグロの資源管理をめぐり、7月1日から罰則付きの漁獲規制が始まりました。農水省・水産庁からの一方的な小型漁船への割り当てをめぐり、7月21日に千葉県沿岸小型漁船漁業協同組合のみなさんと懇談。しいば氏、浅野氏、さいとう氏、藤本治市議らが参加しました。漁業者からは、「今回の規制は不公平だ」「まき網の乱獲を規制し、産卵期は禁漁にすべき」「家族経営の小規模漁師が安心して暮らせるルールを作るべき」などの切実な声があがりました。

駅の無人化を広げないで～京成電鉄本社に要請

右から、萩原陽子市議、さいとう氏、丸山慎一県議、浅野氏、しいば氏=7月11日、市川市

京成電鉄が千葉県内の４駅で午後11時以降、駅員の夜間無人化を進めている問題で、千葉県委員会は7月11日、京成電鉄本社に対し、駅員配置と、無人化をこれ以上広げないよう要請。しいば氏、浅野氏、さいとう氏、丸山慎一県議、萩原陽子佐倉市議が出席しました。

京成電鉄は2016年に2駅、さらに今年4月に2駅を夜間無人化しました。京成側は、インターホンでは聴覚障害者に対応できないこと、車いすの介助などの対応に時間がかかることを認めました。丸山氏は「人を配置する以外にない」と強調し、また治安上の問題も指摘しました。浅野氏は「駅には安心・安全の公共交通機関の役割がある」と訴えました。　京成側は「ご意見をふまえて、社内で検討したい」と答えました。

武蔵小杉駅・横須賀線ホームと改札口増設を実現！

右から、はたの議員、おおば市議、しいば氏、君嶋県議、市古市議団長、よくする会のみなさん=7月30日、横浜市

市民団体「武蔵小杉駅を良くする会」は7月30日、JR東日本横浜支社を訪れ、武蔵小杉駅の混雑解消と安全確保などを要請しました。はたの議員、しいば氏、君嶋ちか子県議、市古てるみ、おおば裕子両市議が同席しました。

同社担当者は、「ホームと改札口を増設をする。2023年度の使用開始を目指す」と回答しました。はたの議員はホームドア設置について、「国土交通省にも指導要請をしている。一刻も早い実施を」と、求めました。